

令和6年度(2024年度)

入学者選抜要項 情報融合学環 抜粋版

※本資料は抜粋版であり、

以下の URL のページに掲載の全学情報も

併せてご確認ください。

↓以下の URL をクリックしてください。

<http://hqac.kumamoto-u.ac.jp/ADPORTAL/>



令和6年度（2024年度） 入学者選抜要項

情報融合学環
抜粋版

目 次

| | |
|--|----|
| 工学部半導体デバイス工学課程の新設について | 1 |
| 情報融合学環の新設について | 3 |
| 1. 令和6年度入学者選抜の主な変更点 | 6 |
| 2. インターネット出願 | 7 |
| 3. アドミッション・ポリシー | |
| (1) 各学部学科・課程等のアドミッション・ポリシー | 8 |
| (2) グローバルリーダーコース（文学部，法学部，理学部，工学部）の アドミッション・ポリシー | 26 |
| 4. 入 学 者 選 抜 概 要 | |
| (1) 募 集 人 員 | 29 |
| (2) 出 願 資 格 | 31 |
| (3) 志 望 方 法 | 32 |
| (4) 推 薦 方 法 | 33 |
| 5. 入学者選抜実施日程 | 34 |
| 6. 入学者選抜方法等 | 35 |
| 7. 一 般 選 抜 | |
| 入学者選抜の実施教科・科目等 | 38 |
| 8. 特 別 選 抜 | |
| (1) 総合型選抜【グローバルリーダーコース入試】 | 54 |
| (2) 学校推薦型選抜 | 58 |
| (3) 帰国生徒選抜 | 80 |
| (4) 社会人選抜 | 83 |
| (5) 私費外国人留学生選抜 | 84 |
| 9. 障がい等を有する入学志願者との事前相談 | 88 |
| 10. 入学志願者の入学検定料の免除 | 89 |
| 11. 学生募集要項等の公表時期及び入手方法 | 90 |
| (参考資料) | |
| • 令和5年度入学試験実施状況表 | 91 |

[令和5年6月]



熊本大学
Kumamoto University

この要項における表記について

1. 大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略しています。

- 国語 → 国
- 地理歴史 → 地歴
「世界史B」→「世B」, 「日本史B」→「日B」
- 公民
「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」,
「倫理, 政治・経済」→「倫・政経」
- 数学 → 数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」,
「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」, 「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」,
「簿記・会計」→「簿」, 「情報関係基礎」→「情報」
- 理科 → 理
「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地」,
「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」,
「地学基礎」→「地基」
- 外国語 → 外
「英語」→「英」, 「ドイツ語」→「独」, 「フランス語」→「仏」, 「中国語」→「中」,
「韓国語」→「韓」

2. 個別学力検査等の出題教科・科目名は、上記1と同様に略すほか、次のように略しています。

- 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」, 「数学A」→「数A」, 「数学B」→「数B」,
- 「物理基礎・物理」→「物基・物」, 「化学基礎・化学」→「化基・化」,
- 「生物基礎・生物」→「生基・生」, 「地学基礎・地学」→「地基・地」,
- 「コミュニケーション英語Ⅰ」→「コミⅠ」,
- 「コミュニケーション英語Ⅱ」→「コミⅡ」,
- 「コミュニケーション英語Ⅲ」→「コミⅢ」

3. 学校推薦型選抜は、次のように表記します。

「学校推薦型選抜Ⅰ」: 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

「学校推薦型選抜Ⅱ」: 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

情報融合学環の新設について

この内容は、現時点で計画中のものであり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等により、今後変更になる可能性があります。

確定後の内容については、学生募集要項で必ず確認してください。

1. 概要

(1) 熊本大学「情報融合学環」の概略

熊本大学では、2030年の社会を見据え、「熊本大学イニシアティブ2030」を策定し、DX（デジタルトランスフォーメーション）時代の国際社会に対応できるリテラシーを身に付け、高度な英語力と異文化理解の力によりSDGsの達成に貢献できるグローバル人材の育成を目指し、様々なプロジェクトに取り組んでいます。また、半導体分野のグローバル企業の熊本進出を契機として、半導体分野における人材需要が高まっている中、地域に根差す国立大学として、その高度人材を輩出することは責務と考え、教育・研究の取組を加速化しています。

この度、熊本大学は、学生が所属する新しい学部組織（学士課程）として、DX、数理・データサイエンスの素養を身に付け、DX課題に対応することのできる人材を育成する学部等連係課程「情報融合学環」の新設を計画し、その設置準備を進めています。

情報融合学環には、DS（データサイエンス）総合コース、DS半導体コースを設け、文理融合、実践的教育、学内連携、地域連携、大学間連携により、DX、数理・データサイエンス人材を育成し、卒業後は、データサイエンティストとして企業や行政等、幅広い分野で活躍することを想定しています。さらに、大学院との接続として、本学の大学院自然科学教育部だけでなく、大学院社会文化科学教育部並びに生命科学系の大学院への進学も可能とする教育プログラムを展開します。

(2) 入学定員

情報融合学環の入学定員は、以下のとおりです。

なお、情報融合学環の新設に伴い、現行の法学部、理学部、工学部の入学定員を変更します。

[変更前：令和5年度入試まで]

| 学 部 | 学 科・課 程 | 入 学 定 員 | 募 集 人 員 (人) | | | | | |
|--|--|---------|-------------|---------|--|---------------|----|----|
| | | | 一 般 選 抜 | | 特 別 選 抜 | | | |
| | | | 前 期 日 程 | 後 期 日 程 | 総 合 型 選 抜 (グ ロー バ ル リ ー ダ ー コ ー ス 入 試) | 学 校 推 薦 型 選 抜 | | |
| 学 校 推 薦 型 選 抜 I (大 学 入 学 共 通 テ ス ト を 課 さ ない) | 学 校 推 薦 型 選 抜 II (大 学 入 学 共 通 テ ス ト を 課 す) | | | | | | | |
| 法 学 部 | 法 学 科 | 210 | 210 | 145 | 25 | 10 | 30 | — |
| 理 学 部 | 理 学 科 | 200 | 200 | 150 | 40 | 10 | — | — |
| 工 学 部 | 土 木 建 築 学 科 | 124 | 124 | 82 | 11 | 20 | — | 26 |
| | 機 械 数 理 工 学 科 | 109 | 109 | 73 | 10 | | | 21 |
| | 情 報 電 気 工 学 科 | 149 | 149 | 100 | 14 | | | 30 |
| | 材 料 ・ 応 用 化 学 科 | 131 | 131 | 80 | 12 | | | 34 |
| | 計 | 513 | 513 | 335 | 47 | | | 20 |



[変更後：令和6年度入試以降]

| 学 部 | 学 科・課 程 | 入 学 定 員 | 募 集 人 員 (人) | | | | | |
|--|--|------------|-------------|------------|--|---------------|------|----|
| | | | 一 般 選 抜 | | 特 別 選 抜 | | | |
| | | | 前 期 日 程 | 後 期 日 程 | 総 合 型 選 抜 (グロ バルリ ーダ ーコ ース 入 試) | 学 校 推 薦 型 選 抜 | | — |
| 学 校 推 薦 型 選 抜 I (大学入 学共通 テスト を課 さない) | 学 校 推 薦 型 選 抜 II (大学入学共通テスト を課す) | | | | | | | |
| 法 学 部 | 法 学 科 | 200 | 200 | 145 | 25 | 10 | ※ 20 | — |
| 理 学 部 | 理 学 科 | 190 | 190 | 140 | 40 | 10 | — | — |
| 工 学 部 | 土 木 建 築 学 科 | 118 | 118 | 76 | 11 | 20 | — | 26 |
| | 機 械 数 理 工 学 科 | 101 | 101 | 70 | 10 | | | 16 |
| | 情 報 電 気 工 学 科 | 112 | 112 | 75 | 12 | | | 20 |
| | 材 料 ・ 応 用 化 学 科 | 122 | 122 | 78 | 12 | | | 27 |
| | 半 導 体 デ バ イ ス 工 学 課 程 | 20 | 20 | 15 | — | | | 5 |
| | 計 | 473 | 473 | 314 | 45 | | | 20 |
| 情 報 融 合 学 環 | | 60 | 60 | 45 | — | — | — | 15 |

※ 募集人員の内訳は、(ア) アドバンスト・リーダー・コース (法学特修クラス) 10 人、(イ) アドバンスト・リーダー・コース (地域公共人材クラス) 10 人となります。

2. 募集人員等

一般選抜 (前期日程)、学校推薦型選抜 II (大学入学共通テストを課す) 及び私費外国人留学生選抜により学生募集を行います。

| 学部等 連係課程 | コ ー ス (※1) | 入 学 定 員 | 募 集 人 員 (人) | | | | |
|----------------|-----------------|------------|-------------|------------|---------------------|---|---------------------------|
| | | | 一 般 選 抜 | | 特 別 選 抜 | | |
| | | | 前 期 日 程 | 後 期 日 程 | 学 校 推 薦 型 選 抜 II | | 私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜 |
| 一 般 枠 | 女 子 枠 (※2) | | | | | | |
| 情 報 融 合 学 環 | D S 総 合 コ ー ス | 60 | 45 | - | 7 | 8 | 若 干 名 |
| | D S 半 導 体 コ ー ス | | | | | | |

(※1 コースについて)

1 年次は 2 コース共通の科目を受講し、2 年次進級時にコース分けを行います。

(※2 女子枠について)

数理・データサイエンス・AI に関心を持ち、高い志・将来展望を持った優秀な女子学生の入学を促すため、学校推薦型選抜における募集人員 15 人のうち 8 人を女子枠とします。(※残りの 7 人は性別を問いません。)

3. 入学者選抜の内容等

情報融合学環においては、学環一括で募集し、2 年次進級時に希望するコースに配属されます。(各コースの受入体制によっては、希望に沿えないこともあります。)

(1) 一般選抜 (前期日程)

入学者選抜を実施します。【50～51 ページ参照】

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

入学者選抜を実施します。【78～79 ページ参照】

(3) 私費外国人留学生選抜

情報融合学環においては、日本留学試験の理系分野の科目を課し、日本留学試験の成績及び本学が実施する個別学力検査等の成績・書類等審査を総合して合格者を決定します。【84～87 ページ参照】

志望方法や本学が実施する個別学力検査の実施教科・科目等は、一般選抜（前期日程）に準ずるものとします。

なお、募集人員は、若干名です。

7. 私費外国人留学生選抜

「知識・技能」については、日本留学試験を利用してこれまでの教育課程の教科・科目及び日本語に関する総合的な学力を、個別学力検査により、入学後の学習とより密接にかかわる教科・科目について学力をより深く判定します。また、面接では、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定します。以上の判定結果を総合して入学者を選抜します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重，○：大きい比重）

| 評価観点 入試区分 | 学力の3要素 | | | 求める人材像 (アドミッション・ポリシー) | | |
|--------------|-----------------|---------------------|---------------------|--|---------------------------------------|-----------------------------|
| | 知識・技能 (基礎学力) | 思考力, 判断力, 表現力 | 主体性, 多様性, 協働性 | 人類の幸福・ 福祉, 自然と の共生に関 心をもって いる人 | グローバル 社会で活躍 する意欲を もっている 人 | ものづく りに関心 をもって いる人 |
| 前期日程 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 後期日程 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |
| 総合型選抜 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 学校推薦型選抜Ⅱ(ア) | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |
| 学校推薦型選抜Ⅱ(イ) | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |
| 帰国生徒選抜 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 私費外国人留学生選抜 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |

情報融合学環

I 求める学生像

データサイエンスの応用領域は自然科学のみならず人文社会分野にも幅広く関連してくることから文理融合型の視点が必要とされます。DS 総合コースでは理系文系を問わず、グローバルな視野を持つデータサイエンティストや研究者を目指す次のような人を求めています。

1. 人間の幸福や人間と環境の融和に対して問題意識を持ち、新時代のデータ駆動型イノベーションの創造に強い意欲を持つ人
2. 国際的な視野と優れた表現力やコミュニケーション能力を身につけ、リーダーシップと行動力を発揮するデータサイエンティスト・研究者を目指す人
3. 課題に対して問題点を明確にし、計画的に問題解決を目指すことができる人
4. 文理を問わず幅広い教養の上に数理・データサイエンス・AIの専門知識を身につけ、それらの実社会への応用に興味を持ち、総合的な視点から広く社会に貢献しようと考えている人
5. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、その上で数学と英語の科目において特に優れた力を有する人

II 入学者選抜の基本方針

情報融合学環の入学試験ではアドミッション・ポリシーにふさわしい人材を選抜するために、一般選抜の他に特別選抜として学校推薦型選抜、私費外国人留学生選抜を実施しています。本学部の入試では、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書及び面接などを組み合わせて入学志願者の能力や資質を総合的に評価します。

III 選抜方法

【一般選抜】

1. 前期日程

「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を、個別学力検査により、「思考力・判断力・表現力」を総合的に判定します。また「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については調査書により評価し、それらの判定結果から入学者を選抜します。

【特別選抜】

2. 学校推薦型選抜Ⅱ

「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を判定します。面接では、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定し、それらの判定結果から入学者を選抜します。

3. 私費外国人留学生選抜

「知識・技能」については、日本留学試験を利用してこれまでの教育課程の教科・科目及び日本語に関する総合的な学力を、個別学力検査により、入学後の学習とより密接にかかわる教科・科目について学力をより深く判定します。また、面接では、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定し、それらの判定結果から入学者を選抜します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重，○：大きい比重）

| 評価観点 | 学力の3要素 | | | 求める人材像 (アドミッション・ポリシー) | | |
|------------|-----------------|---------------------|---------------------|---|---------------------------------------|--|
| | 知識・技能 (基礎学力) | 思考力, 判断力, 表現力 | 主体性, 多様性, 協働性 | 人間の幸福 や人間と環 境の融和に 対して問題 意識を持ち, 新時代の データ駆動 型イノベー ションの創 造に強い意 欲を持つ人 | グローバル 社会で活躍 する意欲を もっている 人 | 数理・データ サイエンス・ AIの専門知 識を身につ け、総合的な 視点から広 く社会に貢 献しようと 考えている 人 |
| 入試区分 | | | | | | |
| 前期日程 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 学校推薦型選抜Ⅱ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |
| 私費外国人留学生選抜 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |

4. 入学者選抜概要

(1) 募集人員

| 学部 | 学科・課程・専攻 | 入学定員 | 募集人員(人) | | | | | | | | | | |
|---------|--------------------------|------------------------------|----------------------------|------|---------------------------|---------|-----|--------|-------|------------|-------------|---|--|
| | | | 一般選抜 | | 特別選抜 | | | | | | | | |
| | | | 前期日程 | 後期日程 | 総合型選抜 (グローバルリーダーコース入試) | 学校推薦型選抜 | | 帰国生徒選抜 | 社会人選抜 | 私費外国人留学生選抜 | | | |
| | | 学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない) | 学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す) | | | | | | | | | | |
| 文学部 | 総合人間学科 | 55 | 55 | 38 | 8 | | 9 | | | | 各学科 若干名 | | |
| | 歴史学科 | 35 | 35 | 24 | 7 | | 4 | | | | | | |
| | 文学科 | 50 | 50 | 35 | 5 | | 5 | | | | | | |
| | コミュニケーション情報学科 | 30 | 30 | 20 | — | | 5 | | | | | | |
| | 計 | 170 | 170 | 117 | 20 | 10 | 23 | | | | | | |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース | 小学校専攻 | 110 | 80 | | | | 30 | | | 若干名 | | |
| | | 国語専攻 | 7 | 7 | | | | — | | | | | |
| | | 社会専攻 | 7 | 7 | | | | — | | | | | |
| | | 数学専攻 | 10 | 10 | | | | — | | | | | |
| | | 理科専攻 | 10 | 5 | | | | 5 | | | | | |
| | | 英語専攻 | 6 | 6 | | | | — | | | | | |
| | | 実技系専攻 | 音楽 | 20 | 10 | | | | 10 | (2人程度) | | | |
| | | | 美術 | | | | | (1人程度) | | | | | |
| | | | 保健体育 | | | | | (3人程度) | | | | | |
| | | | 技術 | | | | | (2人程度) | | | | | |
| | | | 家庭 | | | | | (2人程度) | | | | | |
| | | 計 | 170 | 125 | | | | 45 | | | | | |
| | | 特別支援教育コース | 20 | 14 | | | | 6 | | | | | |
| 養護教育コース | 30 | 22 | | | | 8 | | | | | | | |
| 計 | 220 | 220 | 161 | | | 59 | | | | | | | |
| 法学部 | 法学科 | 200 | ※1 200 | 145 | 25 | 10 | 20 | — | 若干名 | — | 若干名 | | |
| 理学部 | 理学科 | 190 | ※2 190 | 140 | 40 | 10 | — | — | — | — | 若干名 | | |
| 医学部 | 医学科 | 110 | ※3 110 | 87 | | | | 23 | | | 各学科 若干名 | | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | 70 | 50 | | | | 18 | | | | 2 | |
| | | 放射線技術科学専攻 | 37 | 28 | | | | 9 | | | | — | |
| | | 検査技術科学専攻 | 37 | 28 | | | | 9 | | | | — | |
| | | 計 | 254 | 254 | 193 | | | 59 | | | | 2 | |
| 薬学部 | 薬学科 | 55 | 55 | 40 | | | | 15 | | | 各学科 若干名 | | |
| | 創薬・生命薬科学科 | 35 | 35 | 25 | | | | 10 | | | | | |
| | 計 | 90 | 90 | 65 | | | | 25 | | | | | |
| 工学部 | 土木建築学科 | 118 | 118 | 76 | 11 | | | 26 | | | 各学科等 若干名 | | |
| | 機械教理工学科 | 101 | 101 | 70 | 10 | | | 16 | | | | | |
| | 情報電気工学科 | 112 | 112 | 75 | 12 | | | 20 | | | | | |
| | 材料・応用化学科 | 122 | 122 | 78 | 12 | | | 27 | | | | | |
| | 半導体デバイス工学課程 | 20 | 20 | 15 | — | | | 5 | | | | | |
| | 計 | 473 | ※4 473 | 314 | 45 | 20 | | 94 | | | | | |
| 情報融合学環 | 60 | ※5 60 | 45 | — | — | | 15 | | | 若干名 | | | |
| 合計 | 1,657 | 1,657 | 1,180 | 130 | 50 | 43 | 252 | | | 2 | | | |

(備考) 1. 教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースの国語専攻, 社会専攻, 数学専攻, 英語専攻は, 一般選抜(前期日程)のみで募集する。

教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースの実技系専攻における一般選抜(前期日程)は, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭を統合して募集する。なお, 学校推薦型選抜Ⅱ募集人員における()内人数は, それぞれの合格者数の目安を示す。

教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースの小学校専攻における学校推薦型選抜Ⅱは, 一般枠, 地域枠, 理数枠を設定し, 募集人員はそれぞれ10人とする。

教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースにおける実技系専攻(技術)の学校推薦型選抜Ⅱは, 職業教育(工業・農業系)を主とする専門高校(学科)又は職業教育(工業・農業系)を主とする総合学科の出身者を対象とする学校推薦型選抜の募集人員を示す。

2. 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱ募集人員には, 地域枠(熊本県出身等の卒業見込み者及び卒業者を対象とした学校推薦型選抜)の募集人員(8人), みらい医療枠(熊本県出身等の卒業見込み者を対象とした学校推薦型選抜)の募集人員(10人)を含む。

3. 工学部の学校推薦型選抜Ⅱ募集人員には, 職業教育を主とする専門高校(学科)及び総合学科の出身者を対象とした学校推薦型選抜の募集人員(若干名)を含む。(学校推薦型選抜Ⅱ(イ)と称する。)

4. 総合型選抜, 学校推薦型選抜及び社会人選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合(合格者が募集人員に満たなかった場合も含む)は, その不足する人員を前期日程の募集人員にそれぞれ加える。(医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱ地域枠の募集人員(臨時定員)を除く。)

5. 総合型選抜(グローバルリーダーコース入試)については, 学部単位での募集とする。

6. 情報融合学環の学校推薦型選抜Ⅱ募集人員には, データサイエンス, 情報学に対する強い勉強意欲と将来を見据えた明確な勉学目的を持つことはもとより, 従来の常識にとらわれずに新たなことに積極的にチャレンジし, 多様な視点や優れた発想から, 新たなイノベーション創出や社会の発展に貢献したいという意欲を持つ優秀な女子学生を対象とした学校推薦型選抜の募集人員(8人)を含む。(学校推薦型選抜Ⅱ(女子枠)と称する。)

※1 法学部法学科の募集人員について

法学部では、本来、入学定員（募集人員）が210人のところ、令和6年度（2024年度）入試における入学定員（募集人員）は200人となっています。これは、学部等連係課程「情報融合学環」の新設を計画しているためです。

今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議を経て、学部等連係課程「情報融合学環」の設置が認められた場合に、令和6年度入試における入学定員は200人となり、本表の募集人員にて入学者選抜を実施する予定です。

なお、学校推薦型選抜Ⅰの募集人員内訳は、(ア)アドバンスト・リーダー・コース（法学特修クラス）10人、(イ)アドバンスト・リーダー・コース（地域公共人材クラス）10人となる予定です。

※2 理学部理学科の募集人員について

理学部では、本来、入学定員（募集人員）が200人のところ、令和6年度（2024年度）入試における入学定員（募集人員）は190人となっています。これは、学部等連係課程「情報融合学環」の新設を計画しているためです。

今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議を経て、学部等連係課程「情報融合学環」の設置が認められた場合に、令和6年度入試における入学定員は190人となり、本表の募集人員にて入学者選抜を実施する予定です。

※3 医学部医学科の募集人員について

医学部医学科では、本来、入学定員（募集人員）が105人のところ、令和6年度（2024年度）入試における入学定員（募集人員）は110人（一般選抜（前期日程）：87人、学校推薦型選抜Ⅱ：23人（一般枠：5人、熊本みらい医療枠：10人、地域枠：8人））となっています。これは、熊本県内の地域医療に志のある学生の入学を推進し、地域等における医師不足を解消することを目的として、令和5年度に引き続き、令和6年度においても入学定員5人の臨時定員を維持することを計画しているためです。

今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議を経て、臨時定員の維持が認められた場合に、令和6年度入試における入学定員は110人となり、本表の募集人員にて入学者選抜を実施する予定です。

※4 工学部の募集人員について

工学部では、半導体デバイスの製造・評価・開発に携わることのできる人材を育成する「半導体デバイス工学課程」の新設を計画し、その設置準備を進めています。

今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議を経て、設置が認められた場合に、令和6年度入試における半導体デバイス工学課程の入学定員は20人となり、本表の募集人員にて入学者選抜を実施する予定です。

※5 情報融合学環の募集人員について

熊本大学では、学生が所属する新しい学部組織（学士課程）として、DX、数理・データサイエンスの素養を身に付け、DX課題に対応することのできる人材を育成する学部等連係課程「情報融合学環」の新設を計画し、その設置準備を進めています。

今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議を経て、設置が認められた場合に、令和6年度入試における入学定員は60人となり、本表の募集人員にて入学者選抜を実施する予定です。

以上の件については、内容が確定次第、本学ウェブサイトで情報を更新していきますので、随時確認するようにしてください。（<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi> 参照）

- ◎ 教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースにおける実技系専攻の募集について
一般選抜（前期日程）における実技系専攻は、音楽、美術、保健体育、技術、家庭を1専攻として統合し選抜を実施します。実技系専攻の志願者は、出願時に上記から1つを選択して出願するものとし、実技系専攻内で相互志望は認めません。

また、学校推薦型選抜Ⅱでは、実技系専攻として募集人員を設定しますが、音楽、美術、保健体育、技術、家庭で個別に選抜を実施し、募集人員欄に示す（ ）内の人数を合格者数の目安とします。

- ◎ 法学部法学科のコース所属について

法学部法学科の一般選抜合格による入学者は、1年次において「法学・公共政策学コース」に所属します。入学後のコース変更は可能ですが、その際は入学後の成績に基づく選考が行われることがあります。学校推薦型選抜合格による入学者のコース所属は、59～60ページを参照ください。

(<http://www.law.kumamoto-u.ac.jp/curriculum/> 参照)

- ◎ 工学部の教育プログラムについて

工学部は4学科・1課程で学生を募集し、各学科・課程単位で選抜を行いますが（総合型選抜を除く）、4学科への入学者は2年次進級の際にさらに学科毎に3つの教育プログラムに分かれて所属します。各教育プログラムの受け入れ可能な人数には制約があり、教育プログラムへの配属は希望と1年次の成績に基づいて決定されます。同一学科内であっても、配属される教育プログラムによって取得可能な資格等に違いがありますので注意してください。

(<https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/department/> 参照)

- ◎ 情報融合学環のコース所属について

情報融合学環の入学者は2年次進級の際に2つのコースに分かれて所属します。各コースの受け入れ可能な人数には制約があり、コースへの配属は希望と1年次の成績に基づいて決定されます。

(2) 出 願 資 格

次の1)～3)のいずれかに該当する者で、かつ、志望する学部・学科・課程・専攻が指定する令和6年度大学入学共通テストの教科・科目（指定する教科・科目以上を受験した者を含む）を受験した者となります。

ただし、特別選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜）については、別に定める出願要件（54～84ページ参照）とします。

- 1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者(※1)
※1 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者(見込みの者)が該当します。
- 3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次のア～カに該当する者）
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修

了した者

エ. 文部科学大臣の指定した者

オ. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、18歳に達したもの

カ. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格し、18歳に達したもの

キ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（※2）

※2 上記出願資格のキ. により出願する場合は、個別の出願資格審査を行います。

詳細は、熊本大学学生支援部入試課（096-342-2148）にお問い合わせください。

期 限 令和5年8月31日（木）（必着、郵送に限る）まで

ただし、大学入学共通テスト出願の際に、他大学の個別の入学資格審査により出願資格の認定を受けて出願した者で、本学の個別学力検査に出願する場合は、令和6年1月18日（木）（必着、郵送に限る）までとします。

(3) 志 望 方 法

1) 一般選抜

各学部の志望方法は、次のとおりです。

| 学 部 等 | | 前 期 日 程 | 後 期 日 程 |
|---------|--|---|--|
| 文 学 部 | | 4学科（総合人間学科，歴史学科，文学科，コミュニケーション情報学科）の中から1学科を志望してください。第2志望は認めません。 | 3学科（総合人間学科，歴史学科，文学科）の中から1学科を志望してください。第2志望は認めません。 |
| 教 育 学 部 | 学 校 教 育 教 員 養 成 課 程 初等・中等教育コース 特別支援教育コース | 初等・中等教育コース（7専攻）及び特別支援教育コースの中から3つまで志望することができます。 なお、 <u>実技系専攻を志望する場合は、音楽，美術，保健体育，技術及び家庭のいずれか1つを志望してください。</u> | 後期日程は実施しません。 |
| | 養護教育コース | 他のコースと併せて志望することはできません。 | |
| 法 学 部 | | 法学科を志望してください。 | |
| 理 学 部 | | 理学科を志望してください。 | |
| 医 学 部 | 医 学 科 | 医学科を志望してください。 | 後期日程は実施しません。 |
| | 保 健 学 科 | 3専攻（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻）の中から1専攻を志望してください。第2志望は認めません。 | 後期日程は実施しません。 |
| 薬 学 部 | | 薬学科，創薬・生命薬科学科のどちらかを志望してください。第2志望は認めません。 | 後期日程は実施しません。 |

| | | |
|--------|---|---|
| 工 学 部 | 4 学科・1 課程（土木建築学科，機械数理工学科，情報電気工学科，材料・応用化学科，半導体デバイス工学課程）の中から第 2 志望まで志望できます。 | 4 学科（土木建築学科，機械数理工学科，情報電気工学科，材料・応用化学科）の中から 1 学科を志望してください。第 2 志望は認めません。 |
| 情報融合学環 | 情報融合学環を志望してください。 | 後期日程は実施しません。 |

2) 総合型選抜

各学部の志望方法は、54 ページを参照してください。

3) 帰国生徒選抜

各学部の志望方法は、次のとおりです。

| 学 部 | 志 望 方 法 |
|-------|---|
| 法 学 部 | 法学科を志望してください。 |
| 工 学 部 | 4 学科・1 課程（土木建築学科，機械数理工学科，情報電気工学科，材料・応用化学科，半導体デバイス工学課程）の中から 1 つを志望してください。第 2 志望は認めません。 |

4) 社会人選抜

志望方法は、次のとおりです。

| 学 部 | 志 望 方 法 |
|---------|-----------------|
| 医学部保健学科 | 看護学専攻を志望してください。 |

5) 私費外国人留学生選抜

各学部の志望方法は、84 ページを参照してください。

(4) 推 薦 方 法

学校推薦型選抜 I・II

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の学校推薦型選抜についての推薦は、受験生の属する出身学校長（高等学校長等）がこれを行い、一人の受験生について一つの年度における推薦は、大学入学共通テストを課すもの及びこれを課さないものを含めて、一つの大学・学部の学校推薦型選抜募集単位（学科・課程・専攻等）に限られています。

したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学が実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。

※公立大学協会ウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

5. 入学者選抜実施日程

| 大学入学共通テスト | | 試験日 | 令和6年1月13日(土)・14日(日) | | | |
|----------------|--|----------|---------------------------|--|----------|---------------------------|
| 区分 | 学部・学科・課程 | 学生募集要項発表 | 出願期間 | 個別学力検査等 | 合格者発表 | 入学手続期間 |
| 一般選抜 | 前期日程 文学部 教育学部 法学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 情報融合学環 | 11月中旬 | 1月22日(月) ～ 1月31日(水) | 2月25日(日) 教育学部, 医学部医学科 及び保健学科検査技術 科学専攻は 2月25日(日)・26日(月) | 3月8日(金) | 合格通知受領後 ～ 3月15日(金) |
| | 後期日程 文学部 〔総合人間学科・歴史学科・ 文学科〕 法学部 理学部 工学部 | | | 3月12日(火) | 3月21日(木) | 合格通知受領後 ～ 3月27日(水) |
| 総合型選抜 | グローバル リーダーコース 入試 | 7月中旬 | 9月1日(金) ～ 9月7日(木) | 10月7日(土) 理学部及び工学部は 10月7日(土)・8日(日) | 11月1日(水) | 合格通知受領後 ～ 11月9日(木) |
| 学校推薦型選抜 | 学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テスト を課さない) | 9月下旬 | 11月1日(水) ～ 11月6日(月) | 11月25日(土) | 12月6日(水) | 2月13日(火) ～ 2月14日(水) |
| | 学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テスト を課す) | 11月中旬 | 1月15日(月) ～ 1月19日(金) | 2月3日(土) | 2月7日(水) | |
| 帰国生徒選抜 | 法学部 工学部 | 11月中旬 | 1月22日(月) ～ 1月31日(水) | 2月25日(日) | 3月8日(金) | 合格通知受領後 ～ 3月15日(金) |
| 社会人選抜 | 医学部 〔保健学科 (看護学専攻)〕 | 6月上旬 | 7月12日(水) ～ 7月18日(火) | 8月25日(金) | 9月7日(木) | 2月13日(火) ～ 2月14日(水) |
| 私費外国人 留学生選抜 | 文学部 教育学部 法学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 情報融合学環 | 11月中旬 | 1月22日(月) ～ 1月31日(水) | 2月25日(日) 教育学部は 2月25日(日)・26日(月) | 3月8日(金) | 合格通知受領後 ～ 3月18日(月) |

6. 入学者選抜方法等

(一般選抜)

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び調査書の内容等を総合的に判定して行います。

〔前期日程〕

| 学部・学科等名 | 個別学力検査等 | | | | | | | 個別 学 力 検 査 等 の 日 程 | 備 考 (欠員補充の 方法等) | |
|--|--|--------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|---|--|--|--|--|--|
| | 個別 学 力 検 査 を 課 す る | 実技検査等 | | | 2段階選抜 | | | | | |
| | | 実 技 検 査 を 課 す る | 面 接 を 行 う | 小 論 文 を 課 す る | 外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る | 主 と し て の 学 生 の 調 査 書 と 共 に 選 び 取 り 上 げ た 内 容 を 基 に 選 抜 す る | 第1段階 の 選 抜 に 格 合 す る 者 数 | | | 第1段階 の 選 抜 に 格 合 す る 者 数 に 対 し て の 内 入 試 に 対 し て の 選 抜 に 格 合 す る 者 数 に 対 し て の 内 入 試 に 対 し て の 選 抜 に 格 合 す る 者 数 に 対 し て の 内 入 試 に 対 し て の 選 抜 に 格 合 す る 者 数 |
| 文学部 | × | × | | × | × | × | × | 令和6年 2月25日 | 追加合格（た だし、追加合 格を実施し て、なお欠員 がある場合に は、欠員補充 第2次募集を 行うことがあ る。） | |
| 教育学部 学校 教 育 教 員 養 成 課 程 | 初等・中等 教 育 コ ー ス | 小学校専攻 | | | | | | 令和6年 2月25日 ・26日 | | |
| | | 国語専攻 | | | | | | | | |
| | | 社会専攻 | | | | | | | | |
| | | 数学専攻 | | | | | | | | |
| | | 理科専攻 | | | | | | | | |
| | | 英語専攻 | | | | | | | | |
| | 実 技 系 専 攻 | 音楽 | × | × | × | × | × | | | × |
| | | 美術 | | | | | | | | |
| | | 保健体育 | | | | | | | | |
| | | 技術 | | | | | | | | |
| 特別支援教育コース | | | | | | | | | | |
| 養護教育コース | | | | | | | | | | |
| 法学部 | × | × | × | × | × | × | × | 令和6年 2月25日 | | |
| 理学部 | × | × | × | × | × | × | × | 令和6年 2月25日 | | |
| 医学部 | 医学科 | × | | × | × | | 約 4 倍 | × | 令和6年 2月25日 ・26日 | |
| | 保 健 学 科 | 看護学専攻 | | × | | | | | 令和6年 2月25日 | |
| | | 放射線技術科学専攻 | × | | × | × | × | × | 令和6年 2月25日 ・26日 | |
| | | 検査技術科学専攻 | | | | | | | | |
| 薬学部 | 薬学科 | × | × | × | × | × | × | × | 令和6年 2月25日 | |
| | 創薬・生命薬科学科 | | | | | | | | | |
| 工学部 | 土木建築学科 | | | | | | | | 令和6年 2月25日 | |
| | 機械数理工学科 | | | | | | | | | |
| | 情報電気工学科 | × | × | × | × | × | × | × | | |
| | 材料・応用化学科 | | | | | | | | | |
| | 半導体デバイス工学課程 | | | | | | | | | |
| 情報融合学環 | × | × | × | × | × | × | × | 令和6年 2月25日 | | |

〔学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ，帰国生徒選抜，社会人選抜〕

| 学部・学科等名 | | | 学校推薦型選抜 | | | | | | | | | | 帰国生徒 | 社会人 | 備考 | | |
|-------------|----------------------------|----------------|--|--|--|---|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|--|-------------|------------------|--------|-------|-------|---|---|
| | | | 入学定員の一部について，出身学校長の推薦に基づき，個別学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 学 共 通 テ ス ト を 課 す | 個 別 学 力 検 査 を 免 除 す | 2 段 階 選 抜 書 類 審 査 を 行 う | 第 一 段 階 選 抜 に よ る 合 格 者 数 （ 募 集 人 員 に 対 す る 倍 率 ） | 実 技 検 査 を 課 す | 実 技 検 査 を 行 う | 小 論 文 を 課 す | 外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ | そ の 他 | 募 集 人 員 | | | | | |
| 文学部 | 総合人間学科 | | Ⅰ | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | 9人 | × | × | | |
| | 歴史学科 | | | 4人 | | | | | | | | | | | | | |
| | 文学科 | | | 5人 | | | | | | | | | | | | | |
| | コミュニケーション情報学科 | | | 5人 | | | | | | | | | | | | | |
| 教育学部 | 学校 教育 教員 養成 課程 | 初等・中等教育 コース | 小学校専攻 | Ⅱ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | 10人 | × | × | | |
| | | | | 一般枠 | | | | | | | | | 10人 | | | | |
| | | | | 地域枠 | | | | | | | | | 10人 | | | | |
| | | Ⅱ | 理科専攻 | 5人 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 実技系専攻 | (2人程度) | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 音楽 | (1人程度) | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 美術 | (3人程度) | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 保健体育 | (2人程度) | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 技術 | (2人程度) | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 家庭 | 6人 | | | | | | | | | | | | | |
| 特別支援教育コース | 8人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養護教育コース | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法学部 | | | Ⅰ | (ア) | × | ○ | ○ | 約2倍 | × | ○ | ○ | × | × | 10人 | ○ | × | |
| | | | | (イ) | 10人 | | | | | | | | | | | | |
| 医学部 | 医学科 | | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | 一般枠 | 5人 | × | × | |
| | | | | | | | | | | | | | 地域枠 | 8人 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | みらい医療枠 | 10人 | | | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | 18人 | × | ○ | |
| 放射線技術科学専攻 | | Ⅱ | 9人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 検査技術科学専攻 | | Ⅱ | 9人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬学部 | 薬学科 | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | 15人 | × | × | | |
| | 創薬・生命薬科学科 | | | | | | | | | | | | 10人 | | | | |
| 工学部 | 土木建築学科 | | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | (ア) | 26人 | ○ | × | |
| | | | | | | | | | | | | | (イ) | (若干名) | | | |
| | 機械数理工学科 | | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | (ア) | 16人 | ○ | × |
| | | | | | | | | | | | | | | (イ) | (若干名) | | |
| | 情報電気工学科 | | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | (ア) | 20人 | ○ | × |
| | | | | | | | | | | | | | | (イ) | (若干名) | | |
| | 材料・応用化学科 | | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | (ア) | 27人 | ○ | × |
| | | | | | | | | | | | | | | (イ) | (若干名) | | |
| 半導体デバイス工学課程 | | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | (ア) | 5人 | ○ | × | |
| | | | | | | | | | | | | | (イ) | (若干名) | | | |
| 情報融合学環 | | | Ⅱ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | 一般枠 | 7人 | × | × | |
| | | | | | | | | | | | | | 女子枠 | 8人 | | | |

注) 1. 「Ⅰ」は，「学校推薦型選抜Ⅰ」(大学入学共通テストを課さない推薦)を示し，「Ⅱ」は，「学校推薦型選抜Ⅱ」(大学入学共通テストを課す推薦)を示す。

2. 教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コース実技系専攻における()内の人数は，合格者数の目安を示す。

3. 教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コース実技系専攻(技術)は，職業教育(工業・農業系)を主とする専門高校(学科)又は職業教育(工業・農業系)を主とする総合学科の出身者を対象とする学校推薦型選抜の選抜方法及び募集人員を示す。

4. 工学部各学科等の(イ)は，職業教育を主とする専門高校(学科)及び総合学科の出身者を対象とする学校推薦型選抜の選抜方法及び募集人員を示す。

| 学部・学科等名 | | 学力検査等の区分・日程 | | 大学入学共通テストの利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | | 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | | |
|---------|-----|-------------|---|---|--|---------------|------|-----------|-----------------------|-----|---------|-----|----|----|-----|-----|----|------|----------|
| | | | | | | 教科等 | 科目名等 | 2段階 選抜 | 試験の区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 小論文 | 実技 | 面接 | 配点 合計 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報融合学環 | 文系型 | 前期 2月25日 | 国 国語……1 地歴 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 又は2 教 数Ⅰ・数A……1 } 2 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 } 理 物基, 化基, 生基, 地基, } から1又は2 物, 化, 生, 地 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科又は6教科7科目〕又は 〔5教科又は6教科8科目〕 *地歴と公民から1科目以上, 理科から1科目以上とし, これらの教科の中から3科目受験すること。 なお, 物基, 化基, 生基, 地基については, 2科目受験することで「理科1科目」受験とする。 | 教 外 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミⅠ・コミⅡ・コミⅢ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ | | 大学入学 共通テスト | 100 | *50/100 | *50 | 100 | *50/100 | 100 | | | | | | 450 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 550 | |
| | | | | | | 計 | 100 | *50/100 | *50 | 300 | *50/100 | 450 | | | | | | 1000 | |
| | 理系型 | 前期 2月25日 | 国 国語……1 地歴 世B, 日B, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 教 数Ⅰ・数A……1 } 2 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 } 理 物, 化, 生, 地から2 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕 | 教 外 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B コミⅠ・コミⅡ・コミⅢ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ | | 大学入学 共通テスト | 100 | *50 | *50 | 100 | 100 | 100 | | | | | | 450 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 550 | |
| | | | | | | 計 | 100 | *50 | *50 | 400 | 100 | 350 | | | | | | 1000 | |

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- (1) 「地歴」と「公民」及び「理科」について選択解答させる学部学科等において、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第1解答科目を採用します。
- (2) 「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- (3) 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません。（リスニングの免除を許可された者を除く。）
- (4) 文学部及び法学部において、「理科」の教科について、基礎を付した科目（例：物理基礎）2科目と基礎を付していない科目（例：物理）1科目を受験している者は、高得点の科目を採用します。
- (5) 教育学部及び情報融合学環（文系型）において、「地歴」及び「公民」の教科において指定数以上の科目を受験している者は、第1解答科目を採用します。
「理科」の教科について、基礎を付した科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）2科目と基礎を付していない科目（物理、化学、生物、地学）1科目を受験している者は、高得点の科目を採用します。
「地歴」と「公民」及び「理科」（基礎を付していない科目）の教科について、4科目を受験している者は、各々の教科の第1解答科目を採用し、第2解答科目のうち高得点の科目を採用します。「地歴」と「公民」2科目と「理科」の基礎を付した科目2科目と基礎を付していない科目を受験している者は、「地歴」と「公民」の第1解答科目と理科のうち高得点の科目を採用し、「地歴」と「公民」の第2解答科目と理科の採用されなかった科目のうち高得点の科目を採用します。（教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コース『理科専攻』志望者の選考では、理科2科目と「地歴」と「公民」の第1解答科目を採用します。）また、「理科」においては、同一名称を付した出題科目（例：物理基礎と物理）の選択はできません。
基礎を付した科目と基礎を付していない科目において、同一名称を付した出題科目を選択している場合、基礎を付していない科目を「0点」として取り扱います。
- (6) 教育学部、理学部、医学部医学科、医学部保健学科、薬学部、工学部及び情報融合学環において、「地歴」と「公民」の教科について、第1解答科目が当該学部の指定した利用教科・科目でなく、第2解答科目が当該学部の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0点」として取り扱います。

【個別学力検査等】欄

- (1) 数学の出題範囲は次のとおりとします。
 - ・教育学部、医学部（保健学科看護学専攻）、情報融合学環（文系型）：数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳとし、数Ⅰは全範囲、数Ⅱは「数列」、「ベクトル」とします。
 - ・理学部、医学部（保健学科看護学専攻を除く。）、薬学部、工学部、情報融合学環（理系型）：数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴとし、数Ⅰは全範囲、数Ⅱは「数列」、「ベクトル」とします。
- (2) 理科の出題範囲は次のとおりとします。

物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲とします。
化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲とします。
生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲とします。
地学は、「地学基礎」と「地学」を併せた範囲とします。

- (3) 前期日程で課す「外国語（英語）」について、リスニングテストは行いません。
- (4) 医学部医学科の入学志願者が、前期日程において募集人員の約4倍を超える場合は、2段階選抜を実施することがあります。
- (5) 教育学部（学校教育教員養成課程養護教育コースを除く。）の前期日程は、初等・中等教育コース（7専攻）及び特別支援教育コースの中から3つまで志望することができます（32ページ参照）。
また、第2志望、第3志望まで受験を希望する者は、第1志望の出題科目等に加えて第2志望及び第3志望の出題科目等も受験しなければなりません。教育学部の前期日程において、選択教科の部分について指定数以上の教科の解答を可とします。指定数以上の教科を解答している場合は、高得点の教科を採用します。
- (6) 工学部の前期日程は、学科等について第2志望まで認めます。
ただし、第2志望まで受験を希望する者で、第1志望又は第2志望に材料・応用化学科を志望する場合には、理科の科目として、「物基・物」と「化基・化」を選択してください。

○一般選抜（前・後期日程）の個別学力検査問題について

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。
<http://www.nyushikakomon.jp>

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 配点に*印を付してある教科は選択教科を示します。
- (2) 大学入学共通テストで課す外国語『英語』については、リーディング100点満点を200点満点に、リスニング100点満点を50点満点に換算し、その合計点を200点満点に圧縮したうえで、各学部における配点のとおり換算します。
- (3) 「数学」及び「理科」について2科目を課す学部学科等における1科目の配点は、それぞれの合計点の2分の1です。

学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）（大学入学共通テストを課す）

| | |
|---------------|--|
| 実施学部 ・学科等名 | 情報融合学環 |
| 募集人員 | 7人 |
| 出願要件 | <p>入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの</p> <p>1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和5年3月以降に卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者</p> <p>② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年3月以降に修了した者又は令和6年3月修了見込みの者</p> <p>2) 上記1)の教育施設における学習成績が優良な者のうち、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>3) 令和6年度大学入学共通テスト（選抜方法等欄参照）を受験した者</p> <p>4) 合格した場合、入学することを確約できる者</p> |
| 選抜方法等 | <p>大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。なお、面接には口頭試問が含まれます。</p> <p>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</p> <p>【文系型】</p> <p>国：国語……1</p> <p>地歴：世B、日B、地理Bから1又は2 } から1又は2</p> <p>公民：現社、倫、政経、倫・政経から1 } から1又は2</p> <p>数：数Ⅰ・数A……1 } 2</p> <p>数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } 2</p> <p>理：物基、化基、生基、地基、物、化、生、地 } から1又は2</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p>[5教科又は6教科7科目]</p> <p>又は[5教科又は6教科8科目]</p> <p>* 地歴と公民から1科目以上、理科から1科目以上とし、これらの教科の中から3科目受験すること。なお、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎については、2科目受験することで「理科1科目」受験とする。</p> <p>(注) 「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p> <p>【理系型】</p> <p>国：国語……1</p> <p>地歴：世B、日B、地理B } から1</p> <p>公民：現社、倫、政経、倫・政経 } から1</p> <p>数：数Ⅰ・数A……1 } 2</p> <p>数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } 2</p> <p>理：物、化、生、地から2</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>(注) 「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p> |
| 出願期間 | 令和6年1月15日（月）～令和6年1月19日（金） |
| 選抜期日 | 令和6年2月3日（土） |
| 合格発表日 | 令和6年2月7日（水） |
| その他 | |

学校推薦型選抜Ⅱ（女子枠）（大学入学共通テストを課す）

| | |
|---------------|---|
| 実施学部 ・学科等名 | 情報融合学環 |
| 募集人員 | 8人 |
| 出願要件 | <p>本選抜を第1志望とし、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）を第2志望とすることを認めます。</p> <p>入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの</p> <p>1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和5年3月以降に卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者</p> <p>② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年3月以降に修了した者又は令和6年3月修了見込みの者</p> <p>2) 上記1)の教育施設における学習成績が優良な者のうち、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>3) 令和6年度大学入学共通テスト（選抜方法等欄参照）を受験した者</p> <p>4) 合格した場合、入学することを確約できる者</p> |
| 選抜方法等 | <p>大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。なお、面接には口頭試問が含まれます。</p> <p>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</p> <p>【文系型】</p> <p>国：国語……1</p> <p>地歴：世B、日B、地理Bから1又は2 } から1又は2</p> <p>公民：現社、倫、政経、倫・政経から1 }</p> <p>数：数Ⅰ・数A……1 } 2</p> <p>数Ⅱ・数B、簿、情報から1 }</p> <p>理：物基、化基、生基、地基、 } から1又は2</p> <p>物、化、生、地</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p>[5教科又は6教科7科目]</p> <p>又は[5教科又は6教科8科目]</p> <p>* 地歴と公民から1科目以上、理科から1科目以上とし、これらの教科の中から3科目受験すること。なお、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎については、2科目受験することで「理科1科目」受験とする。</p> <p>(注) 「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p> <p>【理系型】</p> <p>国：国語……1</p> <p>地歴：世B、日B、地理B } から1</p> <p>公民：現社、倫、政経、倫・政経 } から1</p> <p>数：数Ⅰ・数A……1 } 2</p> <p>数Ⅱ・数B、簿、情報から1 }</p> <p>理：物、化、生、地から2</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p>[5教科7科目]</p> <p>(注) 「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p> |
| 出願期間 | 令和6年1月15日（月）～令和6年1月19日（金） |
| 選抜期日 | 令和6年2月3日（土） |
| 合格発表日 | 令和6年2月7日（水） |
| その他 | <p>データサイエンス、情報学に対する強い勉強意欲と将来を見据えた明確な勉強目的を持つことはもとより、従来の常識にとらわれずに新たなことに積極的にチャレンジし、多様な視点や優れた発想から、新たなイノベーション創出や社会の発展に貢献したいという意欲を持つ優秀な女子学生の積極的な出願を期待します。</p> |

1 1. 学生募集要項等の公表時期及び入手方法

(1) 学生募集要項の公表

入学者選抜に関する細目を記載した「学生募集要項」は、本学ウェブサイトから電子ファイル（PDF形式）をダウンロードしてください。（製本した冊子はありません。）

各学生募集要項については、次の時期に公表する予定です。

- 総合型選抜（グローバルリーダーコース入試）学生募集要項 7月中旬
- 学校推薦型選抜Ⅰ 学生募集要項 9月下旬
- 学校推薦型選抜Ⅱ 学生募集要項 11月中旬
- 一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項 11月中旬
- 私費外国人留学生選抜 学生募集要項 11月中旬
- 帰国生徒選抜 学生募集要項 11月中旬

(2) 大学案内及び入学者選抜要項の冊子体の入手方法

詳しい請求方法は、本学ウェブサイト（<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi/seikyuu>）をご覧ください。

「大学案内」及び「入学者選抜要項」については、本学ウェブサイトから電子ファイル（PDF形式）をダウンロードする以外に、印刷した冊子体を以下の方法で入手することができます。

1) パソコン・スマートフォン・携帯電話から請求 複数のサイトで取扱っています。



モバっちょ <https://djc-mb.jp/kumamoto-u2/>

※受付から2～5日程でお手元に届きます。

※資料請求料金は、携帯・スマートフォン払い、クレジットカード決済、コンビニ後払いのいずれかの方法でお支払いください。

問合せ先

モバっちょカスタマーセンター(平日 10:00～18:00)

TEL: 050-3540-5005



テレメール <https://telemail.jp>

※下記の資料請求番号の入力が必要です。

※受付から3～5日後に資料が届きます。

（ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間程度かかる場合もあります。）

※資料請求料金は、同封された料金支払い用紙をご確認の上、表示料金をお支払いください。

（支払い方法：携帯、クレジットカード、コンビニなど）

問合せ先

テレメールカスタマーセンター(9:30～18:00)

TEL: 050-8601-0102

2) 大学窓口での配布

月～金曜日（休日を除く。）の8時30分から17時15分まで、熊本大学学生支援部入試課で配布します。

※請求方法により、配送の手段、送料、手数料などが異なる場合がありますので、各自で確認の上、請求してください。